「かなりや」という童謡

「かなりや」という童謡があります。
遊びの会は、この歌のようなスピリット（基本精神）で有りたいと考えています。
ちなみに日本で最初の動揺らしいです。

・・・・・
作詞　西條八十
作曲　成田為三

1.
唄を忘れた金絲雀（かなりや）は
後の山に棄てましょか。
いえいえそれはなりませぬ。

2.
唄を忘れた金絲雀は
背戸の小藪に埋めましょか。
いえいえそれはなりませぬ。

3.
唄を忘れた金絲雀は
柳の鞭でぶちましょか。
いえいえそれはかわいそう。

4.
唄を忘れた金絲雀は
象牙の船に銀の櫂
月夜の海に浮べれば
忘れた唄をおもひだす。
・・・・・

だれでも安心する場所と安心して過ごせる仲間が居て認めてもらえれば、自分の生き方を見つけられるものだと思っています。

遊びの会は、
“象牙の船”であり“銀の櫂”であり“月夜の海”
でありたいと思っています。